

技能実習評価試験実施に向けての検討状況

全国木材組合連合会が技能実習評価試験の実施機関として体制を整備し、厚生労働省・外国人技能実習機構による認定に向けて申請準備を進めているところ

外国人技能実習部会

- ・令和2年1月27日に設立総会を開催し、全木連に部会を設立
- ・令和2年4月以降、各県木連等を通じて入会希望を募っているところ。令和2年8月末で一旦入会受付を停止し、当初会員を確定する予定。

○ 入会希望の状況（6月18日現在）

全国 正会員39社 賛助会員10社

* 都道府県別状況は資料2 参照

ワーキンググループ（→役員会）

- ・試験実施機関としての認定に向けて、試験制度の枠組（評価試験案作成(学科/実技)、採点基準の作成）等を検討
- ・1月の設立総会での了解を経て、7月にワーキンググループの主なメンバーは外国人技能実習部会の役員に選任
- ・外国人技能実習部会への入会の承認は役員会で実施

○ 役員名簿

部会長	高嶺 清二	（宮崎県木連）
副〃	鈴木 裕一	（福島県木連）
副〃	角 秀敏	（全木連） 事務局
役員	西村 新作	（西村株式会社）
〃	広中 京一郎	（中国木材株式会社）
〃	安田 悟	（双日北海道吉本株式会社）

認定後の運営体制

技能実習評価試験委員会

- ・試験の範囲及び試験基準(案)の作成
- ・試験問題(案)及び採点基準(案)の作成

技能実習評価委員会

- ・試験の範囲及び試験基準の審査・決定
- ・学科及び実技試験の可否の判定結果の報告
- ・その他試験の運営、実施に関する事項

部会長 / 役員会

- ・技能実習評価試験制度の執行

試験監督者

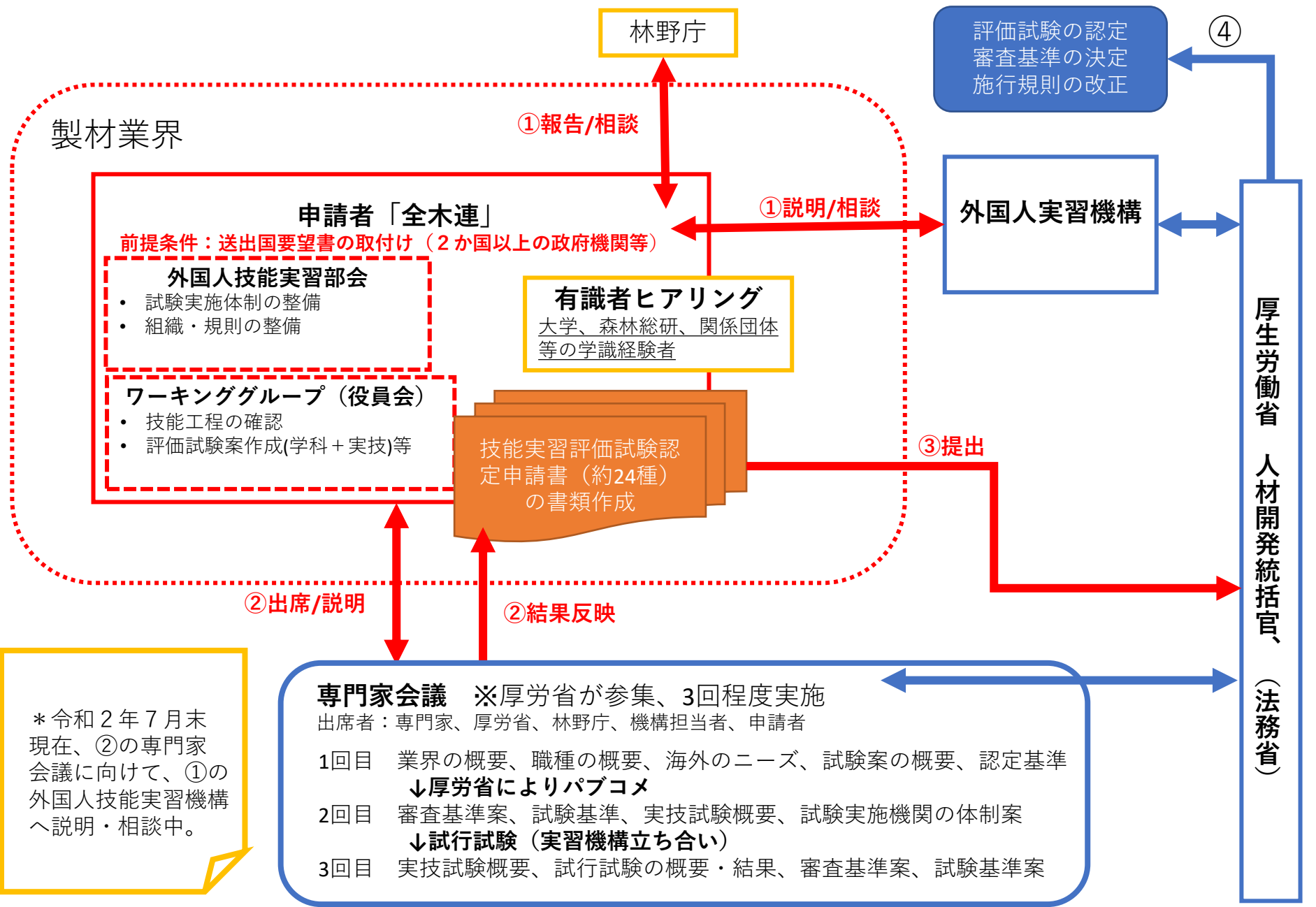
- ・試験の準備
- ・試験の監督及び採点
- ・試験の合否判定及び結果を評価委員会へ報告

* 技能実習評価試験の
実施は都道府県木連との
連携を想定

事務局

- ・技能評価に係る諸業務の実施
- ・各委員会業務の補佐

技能実習評価試験認定に向けての今後の対応



□ (参考) 外国人技能実習制度とは

- 国際貢献として、開発途上国等の外国人を日本でOJTを通じて技能等の移転を図り、その経済発展を担う「人づくり」に協力する。厚労省と法務省の共管制度。
- 在留資格を技能実習1号→2号→3号に移行できる職種は、2019年11月現在以下の通り。
2号移行職種：81職種124作業、3号移行職種：74職種130作業
※移行職種に、製材、合板、集成材製造等、木材産業に直接関係する職種はない。

